

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2000288990 A**

(43) Date of publication of application: **17.10.00**

(51) Int. Cl.  
**B26F 1/00**  
**B26F 1/38**  
**B26F 1/44**

(21) Application number: **11101337**

(71) Applicant: **KOUSEISHA:KK**

(22) Date of filing: **08.04.99**

(72) Inventor: **NISHIMURA KOICHI**

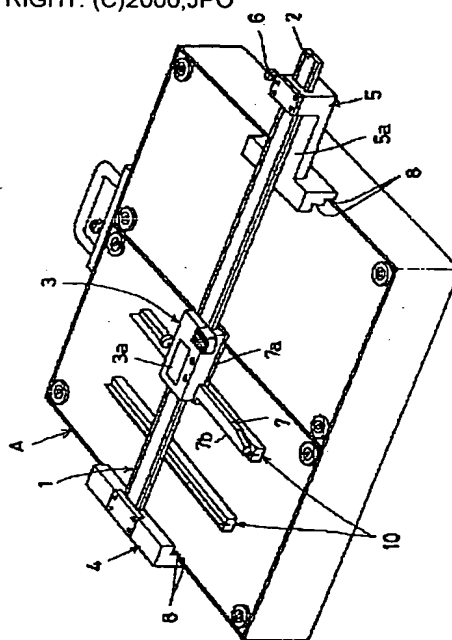
(54) **POSITIONING SCALE FOR BLADE TOOL FOR LABEL TRIMMING DIE**

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a positioning scale for a label trimming die wherein a first blade tool to cut opposite two sides of a label away from a base paper and a second blade tool to cut remaining opposite two sides from a base paper are simply and accurately mounted on a weighing table.

**SOLUTION:** A slider 3 on which a moving amount is displayed in a digital manner is mounted on a linear scale 2. The two opposite sides of a weighing table A are nipped between a first supporter 4 fixed at one end of the linear scale 2 and a second supporter 5 slidably mounted on the other end side of the linear scale 2. The second supporter 5 is fixed at the linear scale 2 by a locking screw 6, and the linear scale 2 is set in a position above the blade tool mounting surface of the weighing table A. A butt claw 7 mounted on the slider 3 is moved to a target point and the side of a cutting edge is brought into butt against the butt blade 7 to position a blade tool 10.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-288990  
(P2000-288990A)

(43) 公開日 平成12年10月17日 (2000.10.17)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ターミナル* (参考)
B 2 6 F	1/00	B 2 6 F	A 3 C 0 6 0
	1/38		Z
	1/44		Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-101337

(22) 出願日 平成11年4月8日 (1999.4.8)

(71) 出願人 599048524

有限会社コウセイ社

大阪府大阪市東成区東今里2丁目10番3号

(72) 発明者 西村 公一

大阪府大阪市東成区東今里2丁目10番3号

有限会社コウセイ社内

(74) 代理人 100074206

弁理士 鎌田 文二 (外2名)

Fターム(参考) 3C060 AA01 BA01 BA03 BB04 BB11

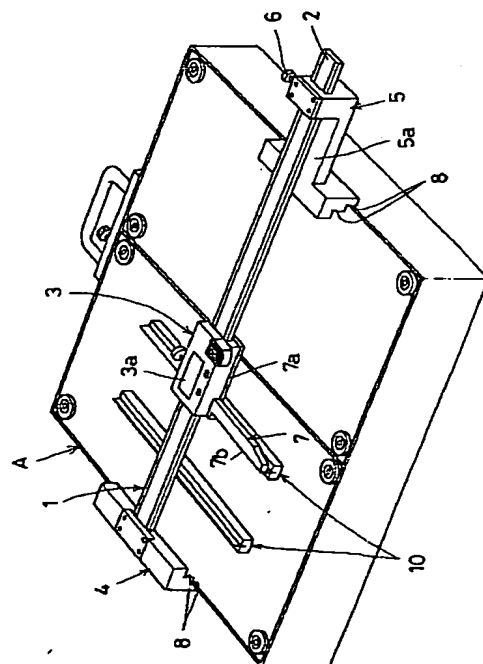
BC02 BC08 BC18

(54) 【発明の名称】 ラベル抜き型用刃具の位置決めスケール

(57) 【要約】

【課題】 ラベルの対向2辺を原紙から切り離す2個の第1刃具と、残りの対向2辺を原紙から切り離す2個の第2刃具を台盤に簡単に正確に取付けることを可能ならしめるラベル抜き型用刃具の位置決めスケールを提供する。

【解決手段】 直尺2に移動量がデジタル表示されるスライダ3を取付け、台盤Aの対向2辺を、直尺2の一端に固定した第1サポータ4と直尺2の他端側にスライド自在に取付ける第2サポータ5で挟み、第2サポータ5を止めねじ6で直尺2に固定して直尺2を台盤Aの刃具取付面の上方にセットする。そして、スライダ3に取付けた当て爪7を目標点に動かし、その当て爪7に切刃1-1の側面を当てて刃具1-0を位置決めするようにした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ラベルの対向2辺を原紙から切り離す2個の第1刃具と、残りの対向2辺を原紙から切り離す2個の第2刃具をプレス機にセットされる台盤に所定の間隔をあけて取付けるときに使用するスケールであって、移動量がデジタル表示されるスライダと、そのスライダを取付けた直尺と、直尺の一端に固定する第1サポータと、直尺の他端側にスライド自在に取付ける第2サポータと、この第2サポータをスライドの各点で直尺に固定する止め具と、直尺と直角向きにしてスライダに取付ける当て爪とから成り、前記第1、第2サポータの内側下部に台盤の刃具取付面と側面の交差部に係止させる切欠溝を設け、この第1、第2サポータで台盤の対向2辺を挟んで直尺をスライダが前記刃具取付面から浮く高さ位置に固定し、スライダと一体に動く前記当て爪を刃具の側面に当てて刃具の位置決めを行うようにしたラベル抜き型用刃具の位置決めスケール。

【請求項2】 第2サポータの下部に、スライダよりも下方に位置して第1サポータ側に延び出す突出部を設け、その突出部の先端に第2サポータ側の切欠き溝を設けた請求項1記載のラベル抜き型用刃具の位置決めスケール。

【請求項3】 第1、第2サポータに高さ位置を変えて各々複数の切欠き溝を設けた請求項1又は2記載のラベル抜き型用刃具の位置決めスケール。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ラベルの4辺を2個が一对の2組の刃具で2回に分けて原紙から切り離す方式のラベル用抜き型に利用する刃具の位置決めスケールに関する。

## 【0002】

【従来の技術】首記の方式のラベル用抜き型の従来例としては、例えば、実開平2-107500号公報に示されるものがある。

【0003】ラベル用抜き型は、チースと称される台盤に取付けて使用される。抜き型を取付けた台盤をプレス機にセットして上下動させ、離型紙と一緒に間欠送りされる原紙を所定サイズのラベルに裁断する。

【0004】上記公報に示される抜き型は、ラベルの対向2辺を原紙から切り離す抜き型と、残りの対向2辺を切り離す抜き型を独立させ、各抜き型に平行一对の固定刃と可動刃を具備させて固定刃と可動刃間の距離調整を可能ならしめており、ラベルのサイズ変化に対応でき、準備する抜き型が1組で済む利点がある。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記公報の抜き型は、固定刃を付けた台板に溝を設け、その溝に可動刃を付けたプレートを手動自在に嵌めているので構造が複雑になる。

【0006】そこで、図5に示すように、切刃11を短冊状のホルダ12に植設して刃具10を構成し、その刃具10を台盤に両面粘着テープで固定することを考えたが、この場合には特に、1組の抜き型が計4個の刃具で構成され、その4個の刃具をそれぞれに位置決めする必要があるため、位置決め作業が面倒になり、作業に要する手間と時間が多くなる。

【0007】そこで、この発明は、1組の抜き型を構成する計4個の刃具を簡単に、高精度に位置決めできる専用の位置決めスケールを提供することを課題としている。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するため、この発明においては、下記のスケールを提供する。そのスケールは、移動量がデジタル表示されるスライダと、そのスライダを取付けた直尺と、直尺の一端に固定する第1サポータと、直尺の他端側にスライド自在に取付ける第2サポータと、この第2サポータをスライドの各点で直尺に固定する止め具と、直尺と直角向きにしてスライダに取付ける当て爪とから成り、前記第1、第2サポータの内側下部に台盤の刃具取付面と側面の交差部に係止させる切欠き溝を設け、この第1、第2サポータで台盤の対向2辺を挟んで直尺をスライダが前記刃具取付面から浮く高さ位置に固定し、スライダと一体に動く前記当て爪を刃具の側面に当てて刃具の位置決めを行うようにしたものである。

【0009】このスケールは、第2サポータの下部に、スライダよりも下方に位置して第1サポータ側に延び出す突出部を設け、その突出部の先端に第2サポータ側の切欠き溝を設けると位置決めを行える領域が広がって好ましい。

【0010】また、第1、第2サポータに高さ位置を変えて各々複数の切欠き溝を設けると、高さの異なる刃具も位置決め可能となる。

## 【0011】

【作用】台盤にスケールを取付け、基準位置、例えばスライダが第1サポータに当たった位置でスライダの目盛をリセットしてゼロにする。そして、そこから当て爪が目標点にくるまでスライダを移動させる。その移動量はデジタル表示されるので正確に判る。次に、目標点に到達した当て爪に刃具の側面、好ましくは切刃の側面を当てる。当て爪は、台盤のサポータを取付けた側の辺と平行になっているので、その当て爪に切刃を密着させると刃具も上記の辺と平行になり、これで片方の第1刃具の位置決めが完了する。そこでその刃具を台盤に固定する。次に、スライダを所定の刃間距離が保たれる第2の目標点に移動させ、上記と同じ作業を行ってもうひとつの第1刃具を位置決め固定する。

【0012】その後、スケールを一旦台盤から外し、90°向きを変えて再び台盤にセットする。そして、上記

と同様の方法で、2つの第2刃具（これは第1刃具に対して直角向き）を位置決めして固定する。

【0013】このように、当て爪の位置をスケールで設定し、その当て爪に刃具を当てて刃具を位置決めするので、作業が極く簡単になり、位置決め精度も向上する。

【0014】

【発明の実施の形態】図1乃至図3に、この発明のスケールの実施形態を示す。この位置決めスケール1は、直尺2と、その直尺2に取付けたスライダ3と、直尺2の一端に固定した第1サポータ4と、直尺2の他端側にスライド自在に取付けた第2サポータ5と、第2サポータをスライドの各点で直尺2に固定する止めねじ6と、スライダ3に取付けた当て爪7とから成る。

【0015】直尺2は、台盤（チース）Aの各辺の長さよりも長くしている。

【0016】スライダ3は、直尺2上での移動量を計測して表示部3aにデジタル表示する機能を持つ。この直尺2とスライダ3は、市販の電子スケールに採用されているものを利用した。

【0017】サポータ4、5の内側下部には、切欠溝8が対向して設けられている。この切欠溝8を台盤Aの刃具取付面と側面の交差部に係止させて2つのサポータ4、5で台盤Aの対向した2辺を挟み、止めねじ6で第2サポータ5を直尺2に固定して直尺2を刃具取付面から浮いた位置にセットする。ここでは、各サポータ4、5に、切欠溝8を階段状にしてそれぞれ2個設けた。こうすると、直尺2のセット高さを変化させて高さの異なる2種類の刃具を位置決めすることができる。

【0018】また、第2サポータ側の切欠溝8は、第2サポータ5の下部にスライダ3よりも下方に位置して第1サポータ4側に延び出す突出部5aを設けてその突出部5aの幅を広げた先端部に設けた。これにより、当て爪7を第2サポータ5が取付けられている側の台盤の辺の近くまで移動させることが可能になり、位置決めを行える領域が広がる。

【0019】当て爪7は、図4に示すように、スライダ嵌め込み溝を有する取付部7aを一体に形成してその取付部7aをスライダ3の下面にねじ止めするようにしており、スライダ3に取付けるとその当て爪7が直尺2に\*

\*対して直角向きになる。この当て爪7の基準面7bに切刃11の側面を当てて台盤上に載せた刃具10の向きと位置を決め、その位置に刃具10を両面粘着テープ等で固定する。

【0020】対をなす2個の刃具の位置決め固定を完了したら、既に述べたように、スケール11を90°方向が変わるようにつけ直し、残りの2個の刃具を位置決めする。なお、刃具10の長手方向の位置決めは、当て爪7の先端に刃具10の一端を揃えろと言った方法で行える。

【0021】

【発明の効果】以上述べたように、この発明のスケールを用いると、平行度を保つ機能の無い図5のような刃具も台盤上に簡単に高精度に位置決めすることができ、ラベル裁断の下準備（抜き型のサイズ変更）に要する手間と時間を削減できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のスケールの実施形態を使用状態にして示す斜視図

20 【図2】同上のスケールの平面図

【図3】同じく正面図

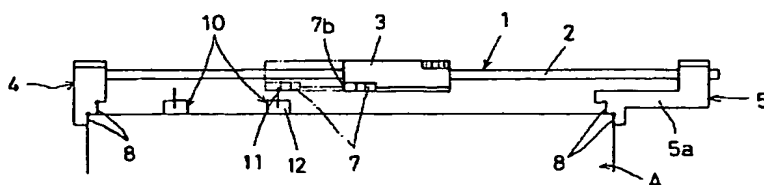
【図4】当て爪の斜視図

【図5】位置決め対象の刃具の一例を示す斜視図

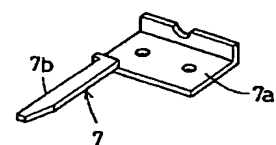
【符号の説明】

- 1 スケール
- 2 直尺
- 3 スライダ
- 4 第1サポータ
- 5 第2サポータ
- 5a 突出部
- 6 止めねじ
- 7 当て爪
- 7a 取付部
- 7b 基準面
- 8 切欠溝
- A 台盤
- 10 刃具
- 11 切刃
- 12 ホルダ

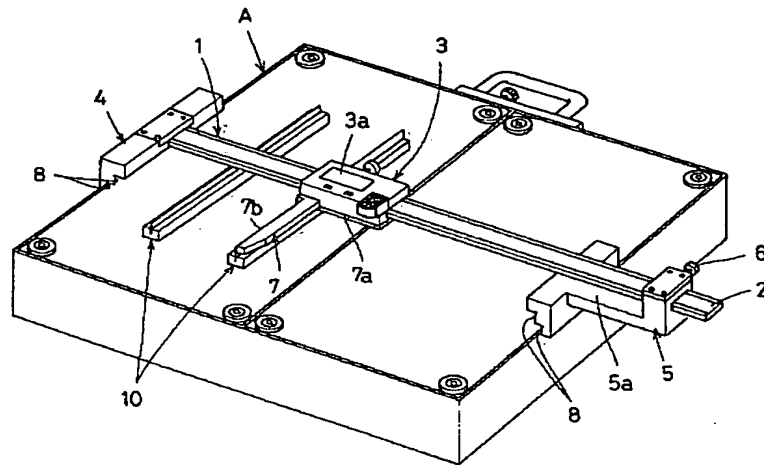
【図3】



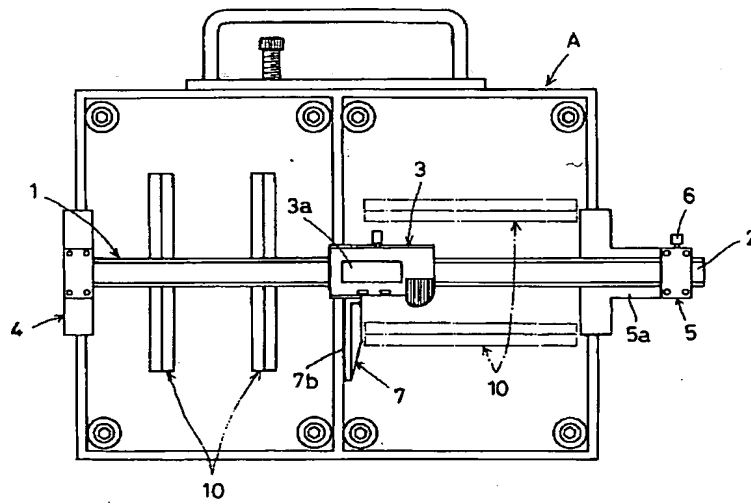
【図4】



【図1】



【図2】



【図5】

